

.....

うきたむ考古通信

.....

2016年4月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

♥平成28年度の事業が始まりました

●1 4月1日より、平成28年度事業を新たなメンバーで開始いたしました。当館に二年間勤務し、常設展の小学生向けの解説シートの作成や、リニューアルした企画展示室の展示構想などに力を発揮していただいた学芸員の齋藤久美子が、宮城県の教員採用試験に合格し、平成28年3月末日で退任しました。4月からは宮城県角田市立角田中学校に社会科の教員として赴任しております。

そして、4月1日から学芸員として鈴木亜美(すずきつぐみ)が着任しました。館長、伊藤、二宮、片山の4名は留任いたします。考古の会の担当は昨年度に引き続き伊藤となりますので、よろしく願いいたします。

●2 4月16日(土)には考古の会の役員会と役員研修(宮城県の大木囲貝塚の見学)を予定しています。

●3 定例総会は、5月7日(日)に開催し、終了後は宮城県教委に派遣されております、長橋 至氏に「合戦原遺跡の横穴墓」と題した講演をいただく予定です。

●4 別添で今年度の館事業の催し物案内をお送りいたしますが、現在分かっている内容はおおよそ次のとおりとなります。

【館主催事業予定】

体 験

●「赤ちゃんの手形を作ろう」

4月29日(金)から5日(火)まで7日間、開催する予定です。今年は例年より2日間多い日程となっています。昨年は知事も来館し、参加者と交流を深めました。

お子さん、お孫さん、親戚の方に声掛けをお願い致します。今年は、準備段階から考古の会会員の方にもお手伝いをお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

●「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

5月21日(土)、8月6日(土)、11月3日(木・祝)

●ガラス玉をつくろう

6月18日(土)、12月3日(土)

●古代風ブレスレットを作ろう

6月25日(土)、11月3日(木・祝)

展 示

●特別テーマ展（公益財団法人山形県埋蔵文化財センターとの共催）

6月11日(土)～9月11日(日)「遺跡今昔物語—いせきこんじゃくものがたり—」

現在、建物や道路、ダムなどがある場所には、かつて昔の人々の生活の痕跡が残る遺跡がありました。そこで、主な建築物が造られる前に調査した遺跡の様子、出土した遺物と共に現在の建造物の写真なども展示し、時代の変化の様子を紹介します。

〈主な遺跡〉城南一丁目遺跡(現・霞城セントラル)、野向・市野々向原・千野遺跡、飛泉寺跡(現・横川ダム)、藤島城跡(現・庄内農業高校)、お花山古墳群(現・山形自動車道)

●第24回企画展

9月17日(土)～12月4日(日)「森と暮らせば—縄文人の植物利用—」

今も、昔も暮らしに欠かせない木。縄文人は山や森から受けた恩恵をどのように暮らしに取り入れていたのかをご紹介します。

〈展示構成〉第1部「住まいと作業場」 第2部「動物質食料の獲得—狩と漁—」

第3部「植物質食料の獲得—採集・加工・栽培—」 第4部「伐採・採取・加工」 第5部「容器と漆利用」 第6部「衣・装飾・祈り」(仮題)

●「古墳時代から中世の考古資料」

概ね12月中旬から5月まで企画展示室にて、「古墳時代から中世の考古資料」として、古墳時代から中世にかけての県内の出土品を展示しています。今年1月にリニューアルオープンしました。

研修会

●春の遺跡めぐり

6月5日(日)に昨年に引き続き新潟県の北部の遺跡や史跡をめぐります。詳細は決まり次第お知らせします。

●みる・きく・ふれる遺跡の旅21（うきたむ考古の会との共催）

7月2日(土)・3日(日)の日程で秋田県北部方面の遺跡をめぐります。

●秋の遺跡めぐり

10月2日(日)。福島県中通りの史跡や遺跡をめぐります。

講 座

●考古学入門講座Ⅱ

7月の日曜日に館長講座として開講します。一般を対象とし、考古学の方法やこれまでの考古学の成果を解説し、その楽しさや埋蔵文化財の保護思想の普及に触れていただきます。

〈第1回〉7月10日(日)

19 弥生時代とは 20 稲作の展開 21 集落と墓 22 弥生時代の山形

〈第2回〉7月17日(日)

23 古墳時代とは 24 住居と集落 25 生産と流通 26 古墳と副葬品

〈第3回〉7月24日(日)

27 山形県の古墳とその変遷 28 山形県の古墳時代の住居と集落

29 山形県の古墳時代の土器と木製品

※引き続き次年度に入門講座Ⅲ古代・中近世を開講し、完結する予定です。

●考古学セミナー

企画展に関連する内容とし、企画展開催中に開講します。

○全体テーマ『縄文時代の植物利用』

〈第1回〉9月25日(日)

「山形県内の縄文時代植物利用の概要」 渋谷孝雄(当館館長)

「押出遺跡の植物利用」

水戸部秀樹氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

〈第2回〉10月9日(日)

「小山崎遺跡の植物利用」

大川 貴弘氏(遊佐町役場)

「高瀬山遺跡の水場遺構と植物利用」

小林 圭一氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

〈第3回〉10月23日(日)

「縄文時代の植生史と植物利用」

吉川 昌伸(古代の森研究舎)

「出土遺体にみる縄文時代の植物利用」

吉川 純子(古代の森研究舎)

●企画展講演会

11月20日(日)

講師 鈴木 三男先生(東北大学名誉教授)

演題『縄文時代の植物利用(仮題)』

鈴木先生は東北大学植物園長等を歴任され、考古学の世界でも多くの貢献をされています。

●うきたむ学講座(うきたむ学講座実行委員会との共催)

現在のところ開催期日や講師、演題などは決まっていません。決まり次第お知らせいたします。今年も、遊学館からの補助金を申請する予定です。

●うきたむ学特別講座(白鷹町で開催する計画ですが、詳細は未定です。)

●考古資料検討会(山形考古学会と共催)

2月5日(日)を予定しています。2016年度に調査が行われた遺跡などの成果報告を行います。

東北情報館



収蔵資料展 『縄文土器の年代—その古さを読み解く—』

入館料 無料

3月5日～5月8日 福島県文化財センター白河館 まほろん TEL: 0234-24-4311



旬の常設展 2016 春 『正宗と秀吉ほか』

入館料 一般・大学生／400円 高校生／200円 小・中学生／100円

3月8日～6月12日 仙台市博物館 TEL: 022-225-3074

国立カイロ博物館所蔵 『黄金のファラオと

大ピラミッド展』

入館料 一般／1500円 高校・大学生／1200円 小・中学生／800円

4月22日～6月26日 仙台市博物館 TEL: 022-225-3074



埋蔵文化財調査資料展 『盛岡を発掘する

—平成27年度発掘調査速報—』

入館料 一般／200円 小・中学生／100円

2月6日～5月15日 盛岡市遺跡の学び館 TEL: 019-635-6600



国宝 『上杉本洛中洛外図屏風原本公開』

入館料 一般／410円 高校・大学生／200円 小・中学生／100円

4月16日～5月15日 米沢市上杉博物館 TEL: 0238-26-2666



特別展 『レオナルド・ダ・ヴィンチと

「アンギアーリの戦い」展』

入館料 一般／1300円 学生／900円 小・中・高生／500円

3月19日～5月29日 宮城県美術館 TEL: 022-221-2111